

◇ 令和3年度指定管理者事業評価書

施設名	のびっ子「渋川」			指定管理料	利用料金	支出	経理の状況	施設運営の方針
施設所管課	子ども未来部	子ども・若者政策課	初年度	14,734,416円	/	16,630,205円	事業収益を保育や施設の安全維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
施設HPアドレス	http://ayumi.hoikuen.to/nobikko.shibukawa/		2年目	16,838,276円		17,655,099円	事業収益を保育や施設の安全維持管理に還元するなど、効果的な予算執行が行われた。(差額については、おやつ代等に対応)	施設の運営や事業の実施において、より満足度の高いものへとしていきます。
指定管理者名	社会福祉法人良友会		3年目					
指定期間	令和2年4月1日 ~ 令和7年3月31日		4年目					
評価対象期間	令和3年4月1日 ~ 令和4年3月31日		5年目					

●総合評価の基準		
5	☆☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆☆である
4	☆☆☆☆	評価基準のすべてが☆☆☆以上で、かつ、最も多い評価が☆☆☆☆である
3	☆☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆☆である
2	☆☆	評価基準の最も多い評価が☆☆である
1	☆	評価基準に☆が1以上ある

○その他の項目	
公募・非公募の別	公募
使用料・利用料金制の別	使用料
指定管理者による運営開始日	平成18年4月1日
施設の供用開始日	平成18年度
指定管理導入前の運営形態	包括的委託

◆総括評価を概括した総合評価の所見(成果・改善等)

●指定管理者の総合自己評価…	☆☆☆☆☆	●市(施設所管課)の総合評価…	☆☆☆☆
令和3年度の管理・運営に係る事業目標(年度当初に記入)		事業目標および管理・運営に対する評価(事業年度終了後記入)	
敷地内複合施設、小学校、法人内運営のこども園近隣という特色を活かし、渋川まちづくりセンターの貸館、夏にはこども園プールの利用で子どもたちの活動範囲を広げること努める。その中でも、新型コロナウイルス感染予防対策を徹底しながら、保護者とのコミュニケーションを大切に意識し、子どもの姿、成長を共有する。引き続き、子どもたちが自主的に生活できるよう支援員一同が意識して、子どもたちの行動一つ一つを丁寧に見守り、かかわっていく。		概ね適正な管理運営ができています。人員配置、保育業務、学校・地域との連携、児童・保護者への対応、苦情・要望への対応など、サービスの質の向上に努めながら、良好に管理運営がなされている。	
事業目標および管理・運営に対する自己評価(事業年度終了後記入)		公募・非公募、使用料・利用料金制の導入についての効果の検証	
感染予防対策を徹底しながら、夏のロクハ公園での自然体験活動(遠足)やフィリピンとの英会話体験を実施する。子どもたち主体の“お楽しみ会”を子どもたちが企画、準備から開催までの経過をかかわったり、まちづくりセンター(貸館、大会議室)を利用して、運動遊び(体幹)を実施し、外遊びに出にくい環境の中、身体作りにも取り組んだ。冬場は毛糸を使って人形作りなどを楽しめる遊びを取り入れる等、年間通して季節に応じた活動に取り組めるよう努めた。		(公募による応募状況等) 公募による募集を行い、草津市指定管理者選定評価委員会での審査、意見により候補者選定を行った。現指定管理者は過去からの実績を踏まえ、他の申請団体と比して保育理念等に優れ、児童に対する安全管理について学校等関係機関との連携を密にしている点で高く評価でき、指定施設の効用を最大限に発揮した施設の管理・運営を果たしている。 (使用料導入についての効果の検証) 公設児童育成クラブは草津市児童育成クラブ条例に基づき、保育料を一律としているため、他クラブとの差異や、指定管理者としてのインセンティブはなく、利用料金制の導入は行っていない。	

◇施設に係る主な指定管理業務	
草津市児童育成クラブ条例第3条に定める、次に掲げる業務	
(1) 放課後児童健全育成事業の実施に関する業務	
(2) クラブの施設および設備の維持管理に関する業務	
(3) 前2号に掲げるもののほか、市長が必要と認める業務	

◆評価基準	
☆☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりもはるかに優れた内容である
☆☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、その水準よりも優れた内容である
☆☆☆	仕様書・協定書等の基準を遵守し、概ねその水準に沿った内容である
☆☆	仕様書・協定書等の基準は遵守し、若干の改善が必要な内容である
☆	仕様書・協定書等の基準を遵守しておらず、改善が必要な内容である

施設全般の管理運営に関する業務(職員の配置や研修の実施、入所状況等)(仕様書 P1.2)				
評価項目1	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	基準に対してゆとりある支援員配置を心がけ、新入所児、保護者が安心してのびっ子的環境、生活習慣を身につけられるように丁寧にかかわれるよう努めた。法人内でAEDを利用し心肺蘇生法、エビペン使用の研修を実施する。	上半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。児童全体を見渡すため、ゆとりある支援員配置をされていた。また、独自に救命講習やエビペン講習等実施し、支援員の質の向上を図られた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	普段より各支援員で記入しているヒヤリハットを定期的(年2回程度)と他に、年度末には取りまとめたものを周知し、危機管理意識の向上に努めた。放課後児童支援員向けの研修に積極的に出席し、支援員全体で内容を共有した。	下半期評価	コロナ禍の中ではあるが、仕様書に定める基準を遵守しながら利用者との問題もなく適正に運営された。市が開催する研修にも積極的に参加し、また、独自でスキルアップセミナーを受講するなど支援員等の資質向上に努められた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

事業の実施に関する業務(保育・事業の充実に向けた取組、個人情報の取扱い等)(仕様書 P1.2)				
評価項目2	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月の誕生会では子どもたちの「お祝いしたい」という自主性に任せ、支援員も話し合い、準備を見守りながら会までの過程を大切にかかわった。プール、自然体験等季節に応じた活動を意識し、各活動を計画し実施した。各個人情報書類は鍵付き書庫で管理し、個人情報の取扱いに努めた。	上半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時季に合ったイベントを実施された。イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	毎月の誕生会では子どもたちの自主性に任せ、会までの経過を大切にかかわり、上半期に引き続き、まちづくりセンターを利用して、運動遊び(体幹)を実施する等子どもたちの体験や経験を意識して、保育の充実に努めた。	下半期評価	コロナ禍ではあるものの、工夫され時季に合ったイベントを実施された。イベントについては、児童が主体的となって企画し、自主性や社会性を身につけるよう工夫された。また、個人情報についても、鍵付きの机に保管し、適正な管理をされていた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

児童の保育に関する業務(おたよりの活用、アンケートの実施、児童への対応等)(仕様書 P2.3)				
評価項目3	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	毎月の各家庭へのおたより配布はもちろん、夏休み前の個別懇談会の実施、送迎時の保護者とのコミュニケーションを大切に、のびっ子での姿、家庭での姿を共有した。気になる子どもに対しては小学校と連携する等対応した。	上半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられた。個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	毎月のおたより配布、学年末の個別懇談会を実施する。1月にはおたよりをおとしてアンケートへの協力を依頼し回収し、支援員間で周知する。保護者のニーズを把握し、次年度への取り組み準備に努めた。	下半期評価	毎月のおたよりで児童の普段の様子を伝えられた。個別懇談を実施し、クラブでの様子、家庭での様子を共有し、保護者とのコミュニケーションを図られた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	

管理物件の維持保全等に関する業務(保守点検、安全対策等)(仕様書 P3.4)				
評価項目4	指定管理者の自己評価		市(施設所管課)の評価	
	上半期評価	支援員による月2回の日常点検、年1回の年間点検を実施し、維持管理に努めた。消防訓練では、複合施設合同の避難訓練(8月)に参加し、セコムによる消防設備点検を実施した。玄関扉に電子錠を設置して不審者対応等安全対策に努めた。出退勤時の支援員検温、健康観察をはじめ、飛沫防止対策等感染予防対策にも努めた。	上半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練の実施や、独自に不審者対応に努められた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	
	下半期評価	引き続き、支援員による月2回の日常点検等維持管理に努め、複合施設合同の避難訓練、警察署員による不審者対応講習(3月)への参加、セコムによる消防設備点検を実施する等安全対策を行う。昼食やおやつ時等マスクを外す場面では座席位置や時間等を記録する等感染予防への意識向上と緊急時に迅速に対応できるよう感染予防対策に努めた。	下半期評価	安全対策として、防犯・防災マニュアルを作成し、それに基づいて月1回避難訓練を実施された。まちづくりセンターと合同でも避難訓練を実施された。毎月児童に様々な防災のテーマの話がされた。
	☆☆☆☆☆		☆☆☆☆☆	